

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

記入年月日

(Do) 1. 事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】 茨城県に対し、市が県営事業（かんかい排水事業、ほ場整備事業、堰改修工事等）整備要望をし、その事業費の一部負担と事務協力をする事業です。</p> <p>【担当者が行う業務の手順】 事業主体である茨城県に対する事務協力、関係者との連絡調整。 市町村負担分の負担金納入</p> <p>【事業費の内訳】 (調査計画事業：青木堰地区) 事業費 230,000千円 国費：55% 県費：37% 市町村負担4.8%、地元負担3.2% (調査計画事業：山尾地区) 調査設計費 4,000千円 県費：50% 市町村負担50%</p>		事業の調整・負担金の内訳確認。支払請求により伝票の処理。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
事業主体である茨城県に対する事務協力、 関係者との連絡調整。 市町村負担分の負担金納入	実施負担金額	千円	8,250.00	4,016.00	13,040.00	5,000.00	5,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
県営一般農道整備事業による農産物の輸送 時間短縮	年度計画負担額	千円	8,250.00	4,016.00	13,040.00	6,000.00	6,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
県営事業の推進	推進率=全体事業費/計画事業費	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) カ入量(事業費)の推移

(3) 投入量(事業費)の推移		(実績)		(計画)		総投入量
		(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	○	○	○
		県支支出金	千円	○	○	○
		地方債	千円	○	○	○
		使用料・手数料	千円	○	○	○
		その他	千円	○	○	○
		一般財源	千円	8,250	4,016	13,040
		事業費計(△)	千円	8,250	4,016	13,040
		正規職員従事人数	人	100人	100人	100人

事務事業名	県営事業の参画事業	事務事業No.	40102000838	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和52年度頃から、高生産性農業の促進・農業の近代化・農村環境の改善に資するため、農道やかんがい排水整備等を県営で実施する事業です。 ・青木堰改修に向けた調査設計測量業務。山尾地区については事業採択に向け調査設計業務を実施					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 青木堰の改修はH31に事業採択となり、順調な事業進捗が望まれている。					

〔See〕 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 【結びついている】 青木堰については、改修に向けた事業採択がなされ、3か年計画で事業完了させていくための参画事業です。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 【妥当である】 農業基盤を整備するための整備事業です。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないか?) 【向上余地がない】 農業生産基盤整備内の道路等の整備以外の意図は考えれません。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 【影響有】 土地改良関係の各種事業を効果的に実施することが困難になります。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 【具体的な手段、事務事業名】 【余地がない】 土地改良関係の各事業を効果的に実施することが困難になるとや投資効果が得られくなってしまいます。
	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 【削減余地がない】 実施機関は茨城県であり、事業相談窓口としての役割を担い最低限の人数で対応しています。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 【公正・公平である】 茨城県が事業主体となり、国費・県費及び地元負担により実施しています。

〔Plan〕 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	青木堰改修工事については、農業用河川工作物等応急対策事業として事業採択され調査設計を経て、本年度より本体工事に着手。山尾地区については、事業採択に向けた調査設計業務を実施し早期採択を目指す。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 繼続 → □ 改革改善を行う → (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 廃止 □ 休止 → ■ 現状維持 (□ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる) (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維持 ○ 低下 (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 (5)

〔Check〕 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)		
課長確認後の評価 A: 繼続(現状維持) B: 繼続(改革改善を行う)	確認欄 <input type="checkbox"/>		